

-----  
新潟日報「健康」欄に読者の質問に答える形で連載  
-----

**Q：性器のかゆみが止まらない**

数年前から性器がかゆく、悩んでいます。昼間はそれほどでもないのですが、夜、特に寝ている時にひどくかゆくなり、かいてしまいます。治療方法を教えてください。

(西蒲黒崎町・K子・22歳)

**A：有効なステロイド軟膏療法**

そうよう掻痒は、皮膚病に特有な自覚症状ですが、一つの独立した疾患ではなく、各種疾患の部分症状として現れたり、なんら認むべき原因がなく神経的にくることもあります。外陰掻痒も、外陰・膣、カンジダ症、トリコモナス症、外陰ジストロフィー、外陰かいようなどのほかに、こう膠げんびょう原病、糖尿病、胃無酸症など全身的な疾患の一症状としてみられたりしますが、原因がはっきりしないことも少なくありません。

外陰の掻痒発生部位としては、陰核、小陰唇、肛門周囲などが多く、時に外陰全体、肛門、膣入口部などにおよぶこともあります。

治療は、掻痒刺激の原因を検索して開始することが原則ですが、一般的には、掻痒に対してステロイド含有軟膏などの局所療法が効果的といわれています。ストレスや精神神経的因子も掻痒助長因子として無視できませんが、夜間は体温の上昇、換気不良、湿気のために掻痒症状が悪化することも少なくありません。適当な安定剤などの投与により症状の改善が期待できると思います。同時に、局所療法として、石鹸、ローション、化粧品、ゴム避妊用具などの使用をやめて、局所の清潔と乾燥を保ち、換気性の良い綿製下着を用いることがよいと思います。

最後に、外陰掻痒といっても、背景に基礎疾患のあることが少なくありませんから、まず専門医によく診てもらうことがよいでしょう。